

2017年6月

企画展「杉戸洋 とんぼ とのりしろ」

Hiroshi Sugito module or lacuna

2017年7月25日(火)～10月9日(月・祝)



① 《placing the boat》2017年

小さな家、空、舟などのシンプルなモチーフ。繊細に、あるいはリズムカルにおかれた色やかたち。抽象と具象の間を行き来するような杉戸洋（1970ー）の作品は国内外で多くの人を魅了してきました。このたび東京にある美術館では初の個展を開催します。

会場となる地下に広がる吹き抜けの空間は、タイルの床やコンクリートを削った壁など、前川國男による建築独特の質感と佇まいをもちます。この空間から着想された最新作、深みのある釉薬に彩られた常滑のタイルによる〈虹？舟？〉や、絵画、ドローイングなどが、当館のギャラリーを色や光で満たします。さりげない空間のしつらえや様々なイメージの繋がりを見い出すなかに生まれてくる、作品と空間そして日常への眼差しが新しく開かれていくような感覚——つくることと見ることの喜びと深淵、ここでしか味わうことのできない作品との出会いをお楽しみください。

ここがポイント！

● 東京の美術館での初の個展

これまで、国内外の美術館やギャラリーで多数の個展を開催してきた杉戸洋。好評を博した、宮城県美術館、ベルナルド・ビュフェ美術館、豊田市美術館での展覧会は記憶に新しいところですが、東京の美術館での個展開催は今回が初となります。

● タイルによる最新作への挑戦

会場となるのは、かつて彫塑室と呼ばれ、2012年のリニューアル前までは3方向の窓から光が差し込んでいた吹き抜けの空間。当館の展示室のなかでも、タイルの床やコンクリートのはつり壁など、前川國男による建築独特の質感や佇まいをもっています。

この空間から杉戸が着想したのは、愛知県常滑市（当館の建築も常滑で製作されたタイルを使用）にある「水野製陶園」のタイルを用いた初の作品で、幅10メートル／高さ3メートルを超える最新作です。深みのある釉薬のかかったタイルによる作品で、この空間を新たな色と光で満たします。



● 展示空間を「自宅のリビングルーム」に見立てる

近年、杉戸は建築家・青木淳氏らと共に、「あいちトリエンナーレ2013」（名古屋市美術館）でのインスタレーション、豊田市美術館などでの構築物《ぼよん小屋》の制作も手がけてきました。また杉戸は絵画の展示においても、建築や空間のスタディを重ねた上で、時に発泡スチロールやパンチカーペットといったありふれた素材によるさりげない「しつらえ」を施し、空間を整えていきます。杉戸の空間への感性が、イメージの繋がり、作品と空間との関係を生み出し、それが見る人それぞれの体験へと豊かに広がっていきます。

本展にあたり、杉戸は「展示室を自分のリビングルームに見立て、この空間そのものを綺麗に見せたいと思った。展示室は現状復帰が基本で壁や床材を変えたりはできない、いわば賃貸の部屋のようなもの。そういった制約も含めて楽しんだ。」と語っています。

関連プログラム

- ・学芸員によるギャラリートーク 8月4日（金）、18日（金）、25日（金）19時～19時30分
- ・9月頃には、杉戸洋によるトークやワークショップを予定しています。

*詳細は特設サイトなどでお知らせします。

展覧会特設サイト（6月下旬開設予定） <http://hiroshisugito.tobikan.jp>

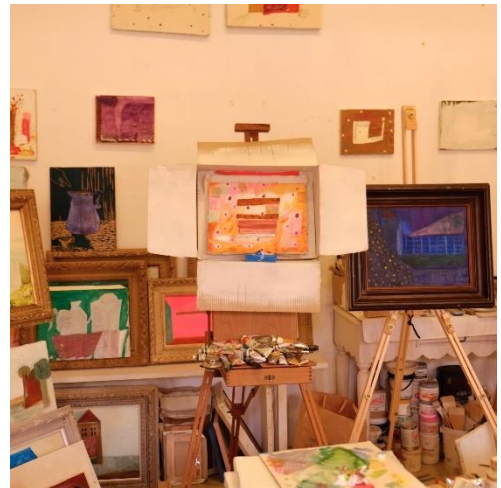
作家紹介

杉戸 洋 (すぎと ひろし)

1970年 愛知県生まれ
1992年 愛知県立芸術大学美術学部日本画科卒業
1996年 絵画制作のためアメリカに渡る
帰国後国内外の展覧会に参加
現在、名古屋を拠点に活動

近年の主な個展

2015年 宮城県美術館「杉戸洋展 天上の下地」
2015年 ベルナル・ビュフェ美術館「杉戸洋 frame and refrain」
2016年 豊田市美術館「杉戸洋——こっばとあまつぶ」



⑦ 杉戸洋 アトリエ

近年の主なグループ展

2013年 「あいちトリエンナーレ 2013 揺れる大地」 名古屋市美術館
(建築家・青木淳とのユニット「スパイダーズ」として参加)
2014年 「開館 20 周年記念 MOT コレクション特別企画 クロニクル 1995-」 東京都現代美術館
2014年 「ロジカル・エモーション——日本現代美術展」 ハウス・コンストラクティブ美術館 (スイス、チューリヒ) (2015年 クラクフ現代美術館 (ポーランド)、ザクセンアンハルト州立美術館 (ドイツ) を巡回)
2017年 「開館 15 周年記念展『生命の樹』」 ヴァンジ彫刻庭園美術館

パブリックコレクション

愛知県美術館 (愛知)、国立国際美術館 (大阪)、東京都現代美術館 (東京)、サーチ・コレクション (イギリス、ロンドン)、サンフランシスコ近代美術館 (アメリカ、サンフランシスコ)、オルブリヒト・コレクション (ドイツ、エッセン) ほか

※プレス内覧会 (7月24日 (月) 15時頃開始予定) には、杉戸洋も参加予定です。

正式なご案内は7月初旬に配信させていただきます。

開催概要

- 展覧会名 企画展「杉戸洋 とんぼ とのりしろ」Hiroshi Sugito module or lacuna
- 会 期 2017年7月25日(火)～10月9日(月・祝)
- 休 室 日 月曜日、9月19日(火)
※ただし、8月14日(月)、9月18日(月・祝)、10月9日(月・祝)は開室
- 開室時間 9時30分～17時30分(入室は閉室の30分前まで)
- 夜間開室 金曜日は9時30分～20時
※ただし、7月28日、8月4日、11日、18日、25日は9時30分～21時
- 会 場 東京都美術館 ギャラリーA・B・C
- 主 催 東京都美術館(公益財団法人東京都歴史文化財団)
- 協 力 ケンジタキギャラリー、小山登美夫ギャラリー
- 特別協力 水野製陶園ラボ
- 観 覧 料 一般800円、団体(20名以上)600円、65歳以上500円、大学生・専門学校生400円
※高校生以下無料(要証明)

○各種割引

- ・ 7月28日、8月4日、11日、18日、25日の17時30分以降は、大学生・専門学校生は無料、一般は団体料金
- ・ 8月19日(土)、20日(日)、9月16日(土)、17日(日)は「家族ふれあいの日」により、18歳未満の子を同伴する保護者(都内在住、2名まで)は一般料金の半額
- ・ 8月16日(水)、9月18日(月・祝)、9月20日(水)は「シルバーデー」などにより、65歳以上の方は無料
- ・ 身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその付添いの方(1名まで)は無料
- ・ いずれも証明できるものをご持参ください
- ・ 10月1日(日)は「都民の日」により、どなたでも無料
- ・ 都内の小学・中学・高校生並びにこれに準ずる方とその引率の教員が教育活動として観覧するときは無料(事前申請が必要)

○相互割引

- ・ 同時開催の特別展「ボストン美術館の至宝展—東西の名品、珠玉のコレクション」(7月20日(木)～10月9日(月・祝))のチケット(半券可)を会場入口でご提示の方は、一般当日料金から300円引き(1枚につき1名1回限り)
- ・ 本展チケット(半券可)を当館内チケットカウンターでご提示の方は、「ボストン美術館の至宝展」の当日券を100円引き(1枚につき1名1回限り)



託児サービス (パパママデー) 事前予約制

以下の日程は、館内で託児サービスを実施しています。
 7月30日(日)、8月6日(日)、8月11日(金・祝)、
 8月20日(日)、8月26日(土)、9月3日(日)、9月9日(土)、
 9月18日(月・祝)、9月23日(土)
 詳細はこちらをご確認ください。
<http://www.tobikan.jp/guide/nurseryservice.html>

